

東西の学者が語り合う2.11シンポジウム

『大阪都構想』を越えて

— 問われる日本の民主主義と地方自治 —



宮本 憲一



重森 暁



加茂利男



鶴田 廣巳

日 時

2月11日(金・祝)
13時～17時

場 所

天満橋・OMMビル2階会議場
(京阪・地下鉄谷町線「天満橋」下車)

主催者のご挨拶

鶴田廣巳・(社)大阪自治体問題研究所理事長(関西大学教授)

コーディネーター

重森 暁・大阪経済大学教授(前大阪経済大学学長)

シンポジスト

(順不同・敬称略)

宮本憲一・大阪市立大学名誉教授

大森 彌・東京大学名誉教授

柴田徳衛・東京経済大学名誉教授

木村 収・元阪南大学教授

加茂利男・立命館大学教授

森 裕之・立命館大学教授



大森 彌



柴田 徳衛



木村 収



森 裕之

参加・資料代として1,000円が必要です

【お問い合わせ先】(社)大阪自治体問題研究所：TEL06-6354-7220 FAX06-6354-7228
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館5階 URL <http://www.oskjichi.or.jp/>

◆シンポジストのプロフィールご紹介（順不同・敬称略）

ご挨拶

鶴田 廣巳
(つるた ひろみ)

1947 年生まれ。横浜国立大学経済学部卒業。1976 京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。1977 年より大阪経済大学経済学部専任講師・助教授・教授を経て、1995 年より関西大学商学部教授。2002 年ルーヴェン・カトリック大学（ベルギー）客員教授を歴任。現在、大阪自治体問題研究所理事長。著書は『所得税の理論と思想』（2001 年・税務経理協会・編著）、『セミナー現代地方財政Ⅱ』（2008 年・勁草書房・編著）、『Basic 現代財政学』（2009 年有斐閣・編著）、『幻想の道州制』（2009 年・自治体研究社・編著）など多数。

コーディネーター
重森 暁

(しげもり あきら)

1942 年生まれ。京都大学文学部卒業。京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。1980 年高知大学人文学部教授、1983 年大阪経済大学経済学部教授。2004 年から 2010 年まで大阪経済大学学長を歴任。現在、同大学経済学部教授。大阪自治体問題研究所・理事長なども務め地方自治・地方財政の提言を行う。著書は『現代地方自治の財政理論』（1988 年・有斐閣）、『分権社会の政治経済学』（1992 年・青木書店）、『地方分権—どう実現するか』（1996 年・丸善出版）、『検証・市町村合併—合併で地域の明日は見えるか』（2002 年・自治体研究社）など多数。

シンポジスト

宮本 憲一
(みやもと けんいち)

1930 年生まれ。名古屋大学経済学部卒業。金沢大学法文学部助教授などをへて 1972 年より大阪市立大学商学部教授。1993 年立命館大学産業社会学部、政策科学部教授をへて 2001 年滋賀大学学長を歴任。公害、都市・環境問題の日本のパイオニア。四日市公害など日本の公害問題をはじめ、復帰後の沖縄調査なども手がける。大阪市立大学名誉教授、滋賀大学名誉教授。著書に『社会資本論』（1967 年・有斐閣）、『都市経済論』（1980 年・筑摩書房）、『環境経済学』（1989 年・岩波書店）、『日本の地方自治 その歴史と未来』（2005 年・自治体研究社）、『維持可能な社会に向かって』（2006 年・岩波書店）、『沖縄論』（2010 年・岩波書店・編著）など多数。

シンポジスト

大森 彌
(おおもり わたる)

1940 年生まれ。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。東京大学法学部教授、千葉大学法学部教授、放送大学大学院客員教授を歴任。政府委員として地方分権推進委員会専門委員、厚生省中央社会福祉審議会委員、特別区制度研究会座長、都道府県議会制度研究会座長など歴任。現在、内閣府独立行政法人評価委員会委員長、社会保障審議会・介護給付費分科会会長、全国町村会道州制と町村に関する研究会座長。東京大学名誉教授。近書に『官のシステム』（2006 年・東京大学出版会）、『変化に挑戦する自治体』（2008 年・第一法規）、『東京 23 区自治権拡充運動と「首都行政制度の構想」』（2010 年・日本評論社・監修）など多数。

シンポジスト

柴田 徳衛
(しばた とくえ)

1924 年生まれ。東京大学経済学部卒業。東京都立大学人文学部助手をへて 1967 年東京都立大学都市財政講座教授を歴任。1971 年美濃部亮吉東京都知事に請われ東京都企画調整局長に就任。美濃部都政のブレーンとして活躍。公害研究所・所長としてゴミ問題・排ガス規制などに取り組む。美濃部都政の終焉で都庁を離れた後、東京経済大学教授に就任し、都市政策を研究。現在、「柴田都市研究室」主催。東京都立大学・東京経済大学名誉教授。著書は『現代都市論』（1967 年・東大出版会）、『日本の都市政策』（1978 年・有斐閣）、『東京問題』（2007 年・クリエイツかもがわ）など多数。

シンポジスト

木村 收
(きむら おさむ)

1936 年生まれ。広島大学政経学部卒業。1958 年大阪市役所入庁。大阪市財政局長、大阪市立大学事務局長、経済局長を歴任。1994 年大阪市を退職し、同年より大阪市立大学経済学部教授。1999 年より阪南大学経済学部教授。現在、大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員。著書は『大都市の破産 - ニューヨーク市財政の危機』（1977 年・大阪都市協会）、『地方分権改革と地方税』（2001 年・ぎょうせい）、『大都市行財政の展開と税制』（2004 年・晃洋書房）など多数。

シンポジスト

加茂 利男
(かも としお)

1945 生まれ。1967 年大阪市立大学法学部卒業と同時に大阪市立大学法学部助手となる。大阪市立大学法学部助教授、法学部教授を歴任。2006 年より大阪市立大学都市研究プラザ所長。2007 年より立命館大学公共政策大学院公務研究科教授。政治過程論・公共哲学・地方自治論が専門。著書として『都市の政治学』（1988 年・自治体研究社）『日本型政治システム——集権構造と分権改革』（1993 年・有斐閣）、『世界都市—「都市再生」の時代の中で』（2005 年・有斐閣）、『自治体間連携の国際比較 - 市町村合併を超えて』（2010 年・ミネルヴァ書房・編著）など多数。

シンポジスト

森 裕之
(もり ひろゆき)

1967 年生まれ。大阪市立大学商学部卒業。同大学院経営学研究科後期博士課程中退。高知大学助手、同大学専任講師を勤めた後、大阪教育大学専任講師、同大学助教授をへて 2003 年から立命館大学政策科学部助教授、2009 年から立命館大学政策科学部教授となり現在に至る。地方財政・都市財政を専攻。著書は『検証「三位一体の改革」』（2005 年・自治体研究社・共著）、『公共事業改革論』（2008 年・有斐閣）、『検証・地域主権改革と地方財政』（2010 年・自治体研究社・共著）など多数。